

2011年(平成23年)12月20日
毎週火・木曜日発行

昭和44年11月28日
第三種郵便物認可

<http://www.cargo-news.co.jp>
info@cargo-news.co.jp
sales@cargo-news.co.jp

カーゴニュース

● BtoCビジネスを開拓

東京倉庫運輸グループの東運ウェアハウス(本社・東京都港区、遠藤文社長)は、個人向けトランクルームサービス「TRUNK倉庫」を昨年から開始し、BtoC(企業対消費者)



東運ウェアハウスの「TRUNK倉庫」

ビジネスに本格参入した。高級マンションが立ち並ぶ港区・芝浦エリアの立地と90年の老舗企業の看板を生かし、地域密着型のトランクルーム

サービスを目指している。

芝浦エリアといえば、かつては倉庫の一大地だが、近隣の住宅化が進み、一部では用途をマンションなどに変更している例もある。東運ウェアハウスではこれまで商業貨物が中心だったが、消費者に近いトランクルームのアドバンテージに着目。倉庫街への住宅の進出に対し、トランクルームという受け皿を用意した結果、周辺の潜在需要を取り込むことに成功した。

いまやインターネットでのオーダーも珍しくないトランクルームだが、これにいち早く取り組んだのが丸八倉庫(本社・東京都江東区、中村明社長)。ウェブ完結型と宅配便の利用にこだわったトランクルームサービス「ウェブトランク」をバージョンアップし、通常の携帯だけでなく、スマートフォン対応を図った。

トランクルームは近年、都心のビルなどに展開する不動産会社のトランクルーム(レンタルスペース型)がシェアを伸ばし、消費者の生活圏から遠い倉庫会社のトランクルーム(寄託型)は押されがちだった。しかし、生活圏に近いという倉庫の立地や最新のIT(情報技術)ツールを生かすことで、シェアを挽回できる可能性もある。